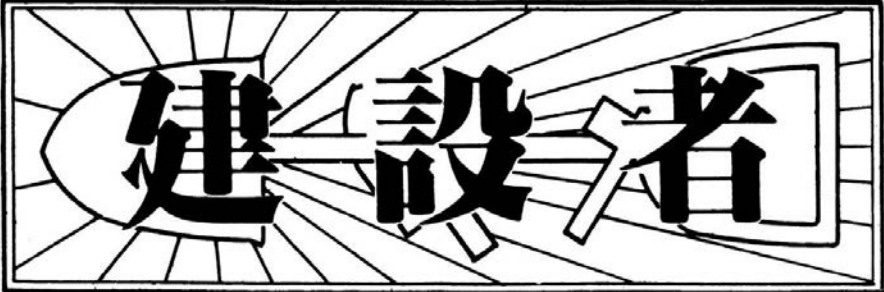


今月の葛飾組織現勢			
2025年9月1日	3,984人		
加 入	59人		
転 入	0人		
脱 退	31人		
転 出	3人		
2025年10月1日現在	4,009人		



東京土建一般労働組合			
葛 飾 支 部			
〒124-0012	葛飾区立石8-34-4		
電 話	(5698) 1 2 6 1		
F A X	(5698) 1 2 6 2		
発行人	関 根 伸 正		

秋の拡大月間 成果表																									
2025年 1月 1日付		2025年 10月 1日付		1月比 増減		秋の拡大																			
						目標数	加入数	成果表 10月1日現在																	
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
たつみ	490	482	－8	18	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
奥 戸	376	385	9	14	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
本田立石	298	294	－4	11	7	●	●	●	●	●	●	●													
青 戸	142	135	－7	5	3	●	●	●																	
中 央	356	337	－19	13	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										
堀 切	253	256	3	9	6	●	●	●	●	●	●														
亀 有	377	376	－1	14	2	●	●																		
細田高砂	363	358	－5	13	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
柴 又	166	160	－6	6	3	●	●	●																	
新金町	284	275	－9	10	5	●	●	●	●	●															
北水元	179	182	3	7	6	●	●	●	●	●	●														
幸 田	254	251	－3	9	5	●	●	●	●	●															
水 元	371	355	－16	13	7	●	●	●	●	●	●	●													
その他	167	163	－4	6	2	●	●																		
合 計	4076	4009	－67	148	81	9月81人 10月 人 合計＝ 81人																			
1月1日付人員比 マイナス 67人																									

秋の拡大月間

たつみ・奥戸・中央が9人の成果

9月から取り組んでいる秋の仲間増やし（拡大）の月間は、8月24日の拡大出陣式からスタート。148人の加入目標に対して、36人の成果から月間に突入。10月1日時点で81人の成果です。9月末月間折り返しでは、目標50%をクリアすることができました。分会では、たつみ・奥戸・中央の9人の加入を先頭に細田高砂が8人と続いています。目標50%達成分会は、たつみ・奥戸・本田立石・青戸・中央・堀切・細田高砂・柴又・新金町・北水元・幸田・水元の12分会です。また、実増では、奥戸分会が9人増、堀切と北水元がそれぞれ3人増と支部全体を引っ張っていますが、10月1日付支部人員は4009人と1月組織人員から67人の減少です。

駅宣でアピール

この秋の月間の取り組みでは、堀切分会は9月26日（木）の夜に住宅デーの宣伝を兼ねて、住宅デーのチラシと東京



堀切分会の駅頭宣伝行動

きながら、仲間に寄り添える行動を分会役員を先頭に進めています。

秋の拡大月間は、4000人支部回復と維持をめざすためにも達成は必須です。支部・分会役員だけでなく、多くの組合員の参加しながらの行動でなければ、この目標数の達成は困難です。一人でも多くの仲間を組合に迎え入れるために、未加入の方からの相談があった場合は、東京土建をお勧めしましょう。

組合員数が増えることは組織の力にもつながります。その力は、国保補助金獲得に対する大きな力にもつながります。多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきたいでしょう。

秋の統一行動日

- 第6次：10月8・9日
- 第7次：10月15・16日
- 第8次：10月22・23日
- 第9次：10月29・30日
- 打上式：10月31日

対都要請ハガキを書こう

6月から始まった来年度の土建国保への補助金確保のための予算要求のハガキ要請行動。多くの組合員・家族のみなさんの協力のもと取り組んでいます。6・7月に取り組んだ厚労省宛の予算要求ハガキは6584枚（昨年7743枚）、8・9月で取り組んだ対都要請ハガキは、6945枚（昨年7865枚）を提出することができました。ご協力ありがとうございました。



集まった予算要求ハガキ

今月来月は、財務省宛ハガキ要請行動（厚労省からの概算要求額の減額をさせない取り組み）が重要になります。ハガキシート組織人員分を目標に取組みを進めます。多くの組合員・家族の力で進めていく必要がありますので、ご協力お願いいたします。

いのちまもる 日比谷に2200人



各団体が登壇

【社会保障対策部 担当小野書記】9月25日（木）、午前中は衆議院第一議員会館にて厚労省・デジタル庁に対して従来の健康保険証を使い続けられるよう求める要請行動

を行いました。東京土建の仲間からも「医療はデジタルではなく、患者とのコミュニケーションと信頼で成り立っている。従来の保険証で何の問題もないのに、医療から遠ざけるようなことをするのか」と疑問の声が上がりました。各庁から保険証廃止についての回答について、参加者の納得いく回答は得られませんでした。

午後は日比谷野外音楽堂で開催された「もう限界 平和と社会保障を立て直せ！いのちまもる総行動」に参加。ケア労働者の処遇改善、保険証存続の訴えをしてきました。集会には約2200人の参加がありました。集会后はパレードを行いました。葛飾支部からは系賀社保対部長、小野書記2名が参加しました。



10月に入りや々と秋らしくなってきました。紅葉の季節になる。食欲の秋、読書の秋と個人的

11月は葛飾区長・区議会議員選挙
投票は私たちの権利です
投票日は11月9日(日)

そして、11月には葛飾区に住む私たちの重要な選択、区長選挙と区議会議員選挙がある。私たちの考えに沿う立候補者への投票で今後の区政のあり方が変わってくる。投票は私たちの権利である。棄権することなく、しっかりと見極めて投票をしよう。

建長会 秋のバスレク

大満足の
シャインマスカット

【建長会担当 森書記】9月19日(金)に日帰りバスレクを開催しました。当日の明け方まで降っていた雨も建長会パワーで集合時間には止み、連日の酷暑と打って変わって過ごしやすい気候の中、参加者30名が乗ったバスは山梨に向け出発しました。

ほほ予定通りに山梨県勝沼に着き、まずは記念撮影をしました。その後メインイベントであるシャインマスカット狩りへ。もぎ取ったマスカットが自分のお土産になるため、品定めをする目は真剣そのもの。その甲斐あって満足のいくお土産ができたみなさんの表情は笑顔にあふれていました。

最後に「里の駅・いちのみや」でお米すくい体験しました。たくさん持ち帰ろうとみなさん必死にすくおうとしますが、簡単そうに見えてさらさらと指の間からこぼれ落ちるお米に悪戦苦闘。それでも多い人は三合くらいすくって持ち帰りました。

シャインマスカットにお米にと、大満足なバスレクとなりました。



笑顔のシャインマスカット狩り

区・区議各会派へ

本会議にむけ
要請行動



自由民主党議員団への要請行動

対区要請行動は、葛飾に住む私たち建設従事者の要望を伝え、区政へつなげるための労働組合としての重要な取り組みです。毎年、9月から始まる区議会本会議にむけ、東京土建葛飾支部は、8月下旬から葛飾区および、区議会各会派への要請行動を行っています。今年も8月末から区議会の自由民主党議員団、かつしか区民連合、日本共産党葛飾区議会議員団の3会派、9月26日には要望の回答した部署が参加する対区要請行動を行い、建設業の現状とそこにまつわる要請をしました。

支援プロジェクトに220人

コロナ禍で始まった【いのちと暮らしを守る生活支援・相談プロジェクト】。9月6日(土)13時から第12回を数えた生活支援を曳舟川親水公園で開催しました。東京土建葛飾支部から系賀社会保険対



支援物資を配布

策部長と小野担当書記の2人が東京土建を代表して参加。全部で13の支援団体、総勢55人が準備含め当日支援要員として対応しました。

当日は、まだまだ猛暑が続くなか、準備段階から支援を求める人が集まりはじめ、220人の区民の皆さんが来場しました。配布物は、区からの提供のビスコや水をはじめ、パスタや野菜など。これらを袋詰めにし、来場者に手渡ししていきまし

多数の応募待ってます

今年も仲間の作品コンクール実施

毎年、葛飾支部の組合員からの応募作品が受賞を重ねているなじみの仲間の作品コンクールが今年も実施されま



二席受賞作品 (芳井武さん)

す。昨年は、短歌部門で篠田綾子さん(北水元の金貨)「ガザの児の なぜ殺すのか 問う眼にも 大人の欲が 砲火あびせる」【文芸の部】①短歌部門、②俳句部門、③川柳部門 ※一人につき1部門5作品まで応募可。

【写真部門】①組合活動部門、②スナップ部門、③風景部門、④今年の課題Ⅱ『つながりのかたち』。(人と人との関係性、学問や文化などの多様性をも包含するテーマとして設定しています)

ガザの児のなぜ殺すのか問う眼にも
大人の欲が砲火あびせる

篠田 綾子

教宣学習会 矯正展を題材

9月27日(土) 教宣部主催の記事書き学習会を開催しました。教宣部員8人と担当書記が参加し、取材地である小



学習会参加のみなさん

菅拘置所【矯正展】を訪問しました。年に1度このイベントの日だけ内部を公開する日であり、刑務作業による質の良い製品の購入できる場ということもあり、多くの来場者で所内には混雑していました。所内で普段経験できない多くのことを体験し、持ち帰り、支部に戻って記事書きへ。教宣部員のみなさんは、思い思いの感じたことを文字にこめ、文章を作成しました。

書かれた記事の中で関根部長により1本を選び、来月「建設者」へ掲載します。

公式LINE登録しよう

